

平成 21 年度 事業計画書
(平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日まで)

平成 21 年度 事業計画書

(平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日まで)

1. アーカイブ事業

グラフィックデザイン、グラフィックアート等に関する作品や資料の収集、保存及びその公開を行なう。また、この活動に関わる諸テーマについて、財団独自で調査、研究を実施すると共に、国内外機関、個人との共同研究等も行う。【寄付行為 第 5 条(1)、(3)、(6)】

国内外の優れたグラフィックデザインならびにグラフィックアート等に関する作品・資料を収集・保存し、その体系化やその適正・有効な活用をはかるための調査、研究を行うと共に、作品、資料、調査研究の成果を公開する。調査研究の成果については、アニュアルレポート等の刊行物や、Web サイト等で公表する。

平成 21 年度は、今年度に収蔵した田中一光アーカイブを一つの柱に加え、事業を推進する。本アーカイブの整備と一般への公開というテーマを目指す。また、アーカイブ全体の作品、資料の適正な保存の方法なども検討し、デジタルデータなどに変換して保存し、データベース化の検討を進める。

(1) 田中一光アーカイブ

平成 20 年秋、田中一光アーカイブを当財団のCCGA(須賀川)に収蔵した。収蔵力をアップしたラックなどの設備を他のアーカイブと調整し、今後、活用がしやすいように配置検討する。品目リストをもとに収蔵品のデータを精査する。検索しやすいデータベースの仕様を検討する。外部へ貸し出したりする際のルールや権利関係の整備をする。

(2) ポスターアーカイブ

デザイナー100名、作品10,000点の収集を目標とする。現時点では、68名のアーカイブを収蔵している。次年度は、未調査10名のデザイナーを対象にヒアリングとコレクション調査を実施し、作品の寄贈を依頼、CCGAに収蔵する。併せて、作品の体系化のための調査、研究を行うと共に、利用・公開のための調査を実施し、ポスターコレクションの公開基準、手続き等を整備する。これにより Web サイトでの公開や他美術館からの貸出し要請への対応を目指す。

(3) 人物アーカイブ

グラフィック作家(20名)を主体とする作品、映像、文献、記事、原稿など複合的な資料を対象とするアーカイブ。

平成 20 年度制作した映像DVD編集物(クリエイターズファイル)を図書館、教育機関

等に寄贈公開し活用を促進する。また、物故作家も含め、作家の活動記録に関する情報アーカイブについて準備する。

(4)タイラーグラフィックス・アーカイブ

アメリカの版画工房タイラーグラフィックスのコレクションを基盤とするアーカイブ。平成 21 年度も引き続き、CCGA に收藏する同工房と著名作家とのコラボレーションを通じて制作された 1,000 点を越えるアメリカ現代版画のコレクションに関するテーマを設定し、その展覧会を開催する(CCGA にて公開)。また、他の美術館等への作品の貸し出しも行なう。

・事業費:9,000 千円

2. 展示事業

グラフィックデザイン、グラフィックアート等を中心とする優れた作品等の展示活動を行なう。展示企画内容により、必要に応じて国内外機関、個人との共同研究等を行なう。また、展示施設の管理運営を行なう。【寄付行為 第 5 条(2)、(6)】

グラフィックデザインならびにグラフィックアート作品に関する鑑賞・体験機会を一般に広く提供するため、独自の展覧会を企画する。展覧会は、東京都 ggg、大阪府 ddd、福島県 CCGA の 3 展示施設で開催する。

ggg、ddd における展覧会は、アーカイブ事業に関する公開の他、作家の個展、並びに作家や監修者等の個人または関係機関との共同研究等の成果の公表として実施し、CCGA における展覧会は、所蔵品展とする。

平成 21 年度は、当財団のアーカイブを中心とする展示や、若手作家、ベテラン作家をとりまぜ、展示や巡回展を通じて国際的なグラフィックデザインの動向を探るなど幅広い活動を目指す。

第 283 回、第 284 回(1 月、2 月)には、当財団に收藏された田中一光アーカイブを広く一般に公開する展示を計画している。

ggg(銀座)展覧会事業 (予定)

企画展	会期
第 274 回 09TDC 展	4/3(金)～25(土)
第 275 回 矢萩喜従郎展	5/8(金)～30(土)
第 276 回 マックス・フォーバー展(スイス)	6/5(金)～29(月)
第 277 回 09ADC 展	7/6(月)～31(水)
第 278 回 細谷巖展	8/4(火)～27(木)
第 279 回 横尾忠則・宇野亜喜良・灘本唯人・和田誠展	9/2(水)～29(火)
第 280 回 山形季央展	10/5(月)～28(水)
第 281 回 北川一成展	11/4(水)～28(土)
第 282 回 広告批評展 ひとつの時代の終わりと始まり	12/3(木)～24(木)
第 283 回 田中一光展(前半)	未定
第 284 回 田中一光展(後半)	未定
第 285 回 福田繁雄展	未定

・ddd(大阪)展覧会事業 (予定)

企画展	会期
第 167 回 きらめくデザイナーたちの競演展	3/10(火)～4/16(木)
第 168 回 ドラフト展	4/24(金)～6/5(金)
第 169 回 09TDC 展	6/12(金)～7/23(木)
第 171 回 09ADC 展	9/30(木)～11/6(金)
第 172 回 北川一成展	未定
第 173 回 矢萩喜従郎展	未定

・CCGA(福島)展覧会事業 (予定)

企画展	会期
所蔵品展「作品と題名」	2/28(土)～6/7(日)
所蔵品展「きらめくデザイナーたちの競演展」	6/20(土)～9/6(日)
所蔵品展「未定」	9/12(土)～12/24(木)
所蔵品展「未定」	3/1(月)～6/13(日)

ggg、ddd の入場料は、無料とする。CCGA の入場料は、有料(一般 300 円、学生 200 円)とする。但し、以下の方々は無料とする。

小学生以下と 65 歳以上の方、及び障がい者手帳をお持ちの方、地域の教育関係者(教員、学生)の教育を目的とした団体、オープニングイベント参加者、有料の講演会、映画会等への参加者 他

・事業費:610,000 千円

3. 教育・普及事業

グラフィックデザイン、グラフィックアート等に関するセミナーの開催、刊行物発行やインターネット等を通じた情報提供等の教育・普及活動の実施。【寄付行為 第 5 条 (4)】

グラフィックデザインならびにグラフィックアート等に関する知識・関心を、一般の方々に広げることを目的に、講演会、図書等の刊行、インターネットを通じた情報配信を行なう。

平成 21 年度は、ギャラリー・レクチャーは、引き続き展覧会と連動し、その質量の充実をはかる。ネット配信のシステムを従来のものから、より簡便なシステムに変更し、多くの会場への配信を目指す。

ゼミナールやワークショップは、作家との連動、他団体との協力でグラフィックを学ぶ学生や、アートを楽しむ人を対象に開催する。

gggBooks発行予定は 4 点、gggBook別冊は 1 点。アニュアルレポートは、6 月に発行予定とする。

ギャラリー・レクチャー：展覧会の出品作家自らが自作や世界観を語るセミナー。

平成 21 年度は ggg(銀座)で 12 回、ddd(大阪)で 5 回開催を予定する。

また、セミナーのネット中継先の拡大を図り、ggg 開催のセミナーを、大学をはじめ希望する教育機関に通信回線を通じ実況中継することを計画する。また、録画データの再配信等に関する準備を行なう。

CCGA 講演会：平成 21 年度より、地域住民を対象とした CCGA ゼミナールを開設する。来場者に、グラフィックアートを鑑賞する楽しみを伝える。

図書の刊行：平成 21 年度は、展覧会と連動し、作家の作品集「ggg Books」を 4 点発行する。また作家の発言や著作の再編集も含めた「ggg Books 別冊」を 1 点発行する。

アニュアルレポート発行：平成 21 年度は、「アニュアルレポート 2008」を印刷、発行し、翌年度刊行する「アニュアルレポート 2009」の企画・編集を開始する。

ギャラリーHP 事業：前年度に引き続き、インタラクティブ性ととも質・量に富むサイトとして継続展開する。

・事業費：72,000 千円

4. 国際交流事業

グラフィックデザイン、グラフィックアート等を中心とした国際交流を行う。【寄付行為 第5条(5)】

ggg、dddギャラリーにて海外作家の展覧会を企画する。また、国内の他のグラフィック団体と連携し、海外に日本のグラフィックデザインを紹介する。

展覧会活動と連動し、海外作家らの展覧会、講演会も合わせて行なう。

また、平成21年度は世界27カ国のトップデザイナーによって構成される国際グラフィック同盟(Alliance Graphic International)との定期的な交流を図る上で、事務局業務などのサポートを検討する。

・事業費:3,500 千円

5. 研究助成事業

グラフィックデザイン、グラフィックアート等を中心とした芸術文化活動に対する顕彰及び助成。【寄付行為 第5条(7)】

グラフィックデザインならびにグラフィックアートに関する研究者の活動を支援するため、「歴史」、「国際動向」、「教育」、「社会との関わり」、「技術動向」等、グラフィックデザイン、グラフィックアート等を中心とする芸術文化の普及、振興に資する優れた研究テーマや刊行物等に助成する。

平成21年度は、初年度に検討した内容をもとに、継続可能な実施計画を立案し、助成募集活動を開始する。

・事業費:5,800 千円

収益事業

CCGA における喫茶の提供を継続する。またgggブランドを冠したグッズ等を製造販売する事業社との収益事業を検討する。

・事業費: 12 千円

以上